

令和6年度 総理研課題 研究追跡調査報告書

研究課題名	山梨県固有のデザインソースの集積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究	
研究期間	令和3年度 ～ 5年度	
記入者	串田賢一	
研究開発成果	<p><研究成果></p> <p>①地域固有のデザイン資源の掘り起こし～コンテンツ化とデザインデータベースづくり, ②付加価値の源泉となる「山梨らしさ」の構成要素の解明, ③「山梨らしさ」を織り込んだ新たな名産となる地場製品の提案に取り組んだ。</p> <p>①では, 県内で刊行された雑誌等のタイトルや県内各地の店舗看板を取材し197点をデジタルデータ化した。</p> <p>また, 郷土民俗資料群「甲州文庫」の資料を中心に広告や包装紙などの資料661件のデジタルデータ化を行った。さらに, これら情報資産の流通を担うデジタルデータベースの改修を行い, 令和5年10月から一般公開を開始した (https://design-archive.pref.yamanashi.jp/)。</p> <p>②では, 人文科学, 感性工学, 深層学習面から山梨の性格を読み解くための6つのキーワードの選定, 県内外の生活者が山梨に抱くイメージ調査・分析を行う中から山梨を好意的に評価する4つのイメージワードの選定, 画像による山梨らしさの判別AIの基礎的モデルの作成を行った。</p> <p>③では, 地元企業の製造技術を活用し、「山梨らしさ」を織り込んだプロダクト2点をデザインから試作した。</p> <p><産業財産権等についても記入すること></p> <p>○鍋（全体意匠）：意願2024-23648（2024年出願）</p>	
	研究成果の普及方法 (研究・学会発表、学会誌掲載等)	研究成果の活用状況 (産業的・経済的效果、実施許諾等)
令和6年度 (初年度)	<p>○ 日本デザイン学会へ成果の一部を論文投稿（3月中）</p> <p>○ 日本感性工学会へ成果の一部を論文投稿（3月中）</p>	<p>○ 改修後のデータベースを Web 上で継続的に運用（訪問者 21,718 名／閲覧数 91,847view 集計期間：R6.2～R7.2）</p> <p>○ 出願意匠について、県内企業が実施を検討中（実施に向け、補助金紹介や販促アイテムの相談等を支援）</p>
令和○年度 (2年目)		
令和○年度 (3年目)		